

令和5年度「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会 議事概要

日 時：令和6年3月8日（金）11:00～12:00

場 所：WEB 会議システムによる開催

【「豊かな環境づくり大阪府民会議」運営委員会】

（●：委員発言）

（1）令和5年度 of 取組報告について

事務局から、資料1に基づき説明。意見等なく、議案について、一同了承。
意見・質疑はなし。

（2）府民会議事業の今後の方向性について

事務局から、資料2に基づき説明。議案について、一同了承。
意見は以下の通り。

- CO₂削減のため、スポビーを強く進めていくことだが、このアプリも健康にまつわるものだと思うが、アスマイルとの連携はどうなっているのか。アスマイルも積極的に進めてほしい。高齢者は参加しているが、若者にも参加してほしい。
→（事務局）アスマイルも府が力を入れているもの。健康医療部とも連携している。目的は違うが、連携できるところを紹介し合うようにしていく。アスマイルの拡大にも貢献できる。
- 大阪府が EXPO グリーンチャレンジを後押しするということであるが、脱炭素行動変容事業を少し説明してほしい。
→（事務局）事業説明
- 運営委員にも活用いただきたいと思う。
- SDGs は 2030 年までの目標ではあるが、それぞれが独立しているのではなくて、相互に関連し、影響しあうもの。社会の共通認識にもなりつつある。これからの「脱炭素」に重点化するの時代にもあっている。脱炭素を推進することは資源循環にも関連し、脱炭素に取り組んだ結果として生物多様性もある。
- 重点取り組みで「②大学への参加呼びかけ」とある。大学教員だったときの経験として、呼びかけても大学は大きすぎて、どうしても学生の1本釣りになってしまう。高校まで広げてはどうか。別の環境会議で高校生に入ってもらって意見を聞いたが、よかった。
- エコチャレンジミーティングは、あらかじめ具体的なテーマがあると若者が議論しやすいと思う。万博後においても学生に真剣に考えてもらえる具体的なテーマを考えていくことが大事。
→（事務局）スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定された府立高校とのネットワークあるので、周知やできることないか呼びかけていきたい。
- 高校生がこれをきっかけに何か考えていくようになればいい。人材育成の観点からもお願いしたい。

（3）豊かな環境づくり大阪行動計画について

事務局から、資料3に基づき説明。議案について、一同了承。
意見は以下の通り。

- 案の中には食に関わるものが多い。環境は幅広い。府民啓発をしっかりとしてほしい。環境農林水産部だけではなく、食の安全推進課などとも連携して啓発してほしい。

→（事務局）連携していきたい。食の衛生を所管しているところがある。内容を確認のうえ、進めていきたい。

●ローカルアジェンダを掲げるものが大阪府民会議で、行動計画の中にあらゆる主体が意識を行動するとある。あらゆる主体だから、行政、事業者、府民となる。しかしながら、36項目を拝見すると、事業者がピンとこないと思う。No.20でモーダルシフトということだが、府民の方の行動として読めてしまう。事業者も運営委員会に入っており、重点36項目の中で（今からこうして欲しいということではなく）、事業者が自分たちはどうしたらいいかと分かるように、そうした表現を今後考えてほしい。また、行政については、環境部局だけでの取組ではなくて、全体で考えてほしい。3Rキャンペーンが上手くいっているということだったが、レジ袋の無料配布がなくなるなど後押しがあり、呼びかけは大事だが、システムを変えていくことも大事。持続していくためには、自治体の施策のあり方も重要。

●運営委員会にも自治体入っている。それぞれの地域でやっていかなければならない課題ややり方も違うが、あらゆる主体が当然入っている。本当はそれが必要（シフトしていくこと）だが、この表現では分かりにくい。

●幅広い自治体におけると書いてある。施策を進めていく主体としてはっきり打ち出してもいい。事業者と行政ともにもっと打ち出してほしい。具体的に書いても良いのでは。

→（事務局）各主体に届くような表現の工夫をという意見。義務感が出ないように、趣旨を踏まえて、次年度（R7）に向けて検討していきたい。

（4）令和6年度取組みについて

事務局から、資料4に基づき説明。意見等なく、議案について、一同了承。

以上